

議会だより

ししか

9月定例会 No.53



平成29年度決算を認定

地域の病院を守れ (委員会審査)

豪雨災害の対策を (一般質問)

グループ紹介 TIARAsilky

ページ

3

6

9

16

とっただ
〜

土田保育園運動会

9月定例会は、9月4日から21日までの18日間の会期で開かれ、決算の認定、補正予算、条例改正、契約案件の議案をはじめ、人事案件、議会議案、請願など、合わせて36件を審議しました。

9月定例会

契約

契約4件を可決

保健福祉センターと文化ホールの建築工事、電気設備工事、機械設備工事、ますほの丘住宅ファミリー棟の建築工事について、それぞれ契約を結びました。

契約内容は8ページ

来年6月完成

保健福祉センター
文化ホールを改修

来年6月までの間、保健福祉センター（社会福祉協議会と訪問看護ステーションを含む）は、志賀消防署横の地域交流センターに移転します。

ますほの丘住宅

単身者棟に続きファミリー棟を新築



完成予想図

来年9月完成

ファミリー棟の募集は、来年11月からを予定しています。
単身者棟は随時募集を受付しています。

一般会計と4つの特別会計で黒字決算となっています。農業集落排水事業、公共下水道事業、地域し尿処理整備事業、ケーブルテレビ事業で差引残額が0円となっていますが、一般会計から資金を補てんして赤字を解消しています。また、企業会計の収益的収支では、水道事業で1億2437万円の純利益を計上し、病院事業で1430万円の純損失を計上しています。

会計名		歳入額	歳出額	差引残額	
一般会計		138億5783万円	135億5075万円	3億708万円	
特別会計	国民健康保険	29億6252万円	29億6030万円	222万円	
	後期高齢者医療	3億3108万円	3億3060万円	48万円	
	農業集落排水事業	4億9403万円	4億9403万円	0円	
	公共下水道事業	7億2398万円	7億2398万円	0円	
	地域し尿処理整備事業	6764万円	6764万円	0円	
	介護保険	28億2914万円	28億2432万円	482万円	
	診療所事業	1億8140万円	1億7910万円	230万円	
	ケーブルテレビ事業	4億8146万円	4億8146万円	0円	
企業会計	水道	収益的収支(税抜)	6億6561万円	5億4124万円	1億2437万円
		資本的収支(税込)	8087万円	3億409万円	△2億2322万円
	病院	収益的収支(税抜)	12億4411万円	12億5841万円	△1430万円
		資本的収支(税込)	1億4451万円	2億3793万円	△9342万円

一般会計では、国庫補助金の内示による各事業の補正をはじめ、公共施設への防犯カメラの設置、ブロック塀の解体撤去費の追加、志賀町野球場の復旧工事費の計上を主として所要額を補正する。特別・企業会計についても、各種事業により所要額を補正する。

会計名		補正額	補正後の額
一般会計		4億9343万円	131億1536万円
特別・企業会計	国民健康保険	492万円	25億6715万円
	後期高齢者医療	48万円	3億4222万円
	農業集落排水事業	664万円	4億9768万円
	公共下水道事業	119万円	8億962万円
	地域し尿処理整備事業	△367万円	6084万円
	介護保険	383万円	30億2641万円
	診療所事業	230万円	1億7748万円
	ケーブルテレビ事業	6927万円	4億6648万円
水道	収益的支出(税抜)	60万円	5億9045万円
	資本的収入(税込)	1300万円	9983万円
	資本的支出(税込)	△439万円	4億7819万円

子どもの医療費窓口無料化について議論

議会の判断は不採択

この請願は、6月定例会の教育民生常任委員会で「継続審査」となっていたものです。今定例会では、これまでの賛成意見・反対意見などを踏まえて審議・採決が行われました。

子どもの医療費を18歳（高校卒業）まで窓口無料にすることを求める請願

【紹介議員】中谷 松助

窓口無料化をすすめる動きが県内各地に広がっている。現在、県内19市町中14市町は18歳まで窓口完全無料化し、3市町は500円で受診できることとなったが、志賀町と七尾市だけが「償還払い」のままである。本町も18歳までの子どもの医療費窓口無料化に踏み出してもらおうと求める。

賛成意見

子育て支援 として大事

志賀町では、子どもの医療費が後で戻ってくる「償還払い」の形で無料化が行われているが、子どもの医療費窓口無料化は子育て支援の一番大事なところである。企業誘致、就業機会の拡大、移住定住の促進もこれらと一体である。

子どもを持つ世帯は、収入もそう多くないことから生活が大変で苦勞しており、子育て支援策の自治体比較から住む市町を決めたという話も聞く。よって、窓口無料化は必要である。

反対意見

優先度の高い ものから

窓口無料化をしない主な理由は、費用の問題である。まず、窓口無料化を実施した県内の全市町で医療費が大きく増えている。また、窓口無料化を実施すれば、医療費の増額にあわせ、システムの改修や委託料が必要となり、5000万円以上の費用が多くなると見込まれている。

本町では、18歳まで医療費は無料だが、費用の9割は町民の税金でまかなわれている。子育て支援にあたっては、限られた財源の中で優先度の高いものから実施すべきである。

2件の請願が不採択

主要農産物種子法の復活等を求める請願

【紹介議員】中谷 松助

種子法の廃止により、農家は特許料を払わなければ種子が使えなくなることが懸念される。よって、廃止された種子法の復活等を国に求める。

TPP11協定を批准しないことを求める請願

【紹介議員】中谷 松助

TPP11は、TPPからの米国の離脱を受けて残る11か国が新たに結ぶ協定だが、TPP以上の悪影響が避けられない。よって、本協定を批准しないよう国に求める。

討論 に対する 請願



反対

南正紀 議員



主要農産物種子法の復活等を求める請願に賛成

種子法は、今後も国が責任を持って国民に安全な食料を供給するため、地域にあった品種開発をさせ、農家に安価で普及するため必要である。TPP11協定を批准しないことを求める請願に賛成

TPPは史上最悪の農産物輸入自由化協定であり、日本の農業を壊し、食料の自給率をなお一層低下させ食料主権を放棄するものである。

賛成

中谷松助 議員



主要農産物種子法の復活等を求める請願に反対

種子法が廃止されても食品衛生法の規制は変わりない。県などの自治体で種子法と同様な条例や要綱が作られており、奨励品種がなくなることもない。

TPP11協定を批准しないことを求める請願に反対

アジア太平洋地域に、公正で透明な経済ルールを定着させ、成長力の高い巨大市場をつくる意義は大きい。なお、すでに本協定は国会で可決、成立しているのので、請願の願意は失われている。



平成29年度決算の審査

今後、財源の確保が厳しくなる中、限られた財源を必要な事業に効果的に投入していくことが求められています。

決算の審査では、事業が効果的・効率的に行われているのかチェックします。

接客が大事。
医師の確保を。
診療科を見直せ。

地域の病院を守れ

質疑 富来病院では毎年損失を出しているが、地域の病院を守るための抜本的な改革が必要である。経営面を考えて診療科を見直すべきである。

答弁 引き続き病院の改革に取り組み、地域に愛される病院にしたい。診療科の見直しについては、経営面だけでなく、公立病院としての役割も考えながら検討する。

質疑 内科医師が1名退職したが、新しい医師は探しているのか。

答弁 県や大病院にお願いしているが厳しい。長く富来病院にいてくれる医師が必要であり、何とか確保したい。

質疑 内科医師が減ったのに、なぜ費用が増えているのか。

答弁 常勤医師が減った分を非常勤の医師でまかなっている。非常勤の医師のほうが割高になる。

質疑 医師によって診察の開始時間が違うという苦情を聞く。まずは接客から改善すべきである。

答弁 今後注意したい。

質疑 入院患者が減っているが、どのように改革するのか。

答弁 病床形態を見直して、在宅復帰や長期療養を目的とした病床を充実させたい。



抜本的な改革が求められる富来病院

放課後児童クラブ の料金を見直せ

質疑 放課後児童クラブの料金は1か月単位だが日割りにできないか。

答弁 放課後児童クラブの利用者が多く、待機児童がいる状態である。日割り計算にすれば利用者を増やすことになり、対応できなくなる。

出会い協働事業の 成果は

質疑 出会い協働プロジェクトの成果はどのようなのか。

答弁 29年度は、料理教室という形で3回、婚活パーティーを2回実施し、参加者は40人のうち8人がカップルとなった。その後の追跡調査については行っていない。

海岸漂着物の対応 をどうするのか

質疑 海岸漂着物の回収に係る国の援助は年々減っているのか。町としてどう対応していくのか。

答弁 県が管理する海岸は、県から委託されて清掃している。町が管理する海岸は、国から9割援助してもらっているが、予算は年々減っている。町としては、地元と相談しながら量が多いところを優先し、計画的に実施していく。

商品券の使える店 を増やせないか

質疑 入学祝金や出産祝金に商品券を支給しているが、使える店を増やすことはできないか。

答弁 状況を見ながら検討させてほしい。

どろろせんようりょう

道路占用料を徴収せよ



平成30年度 補正予算の審査

質疑 町道の地上や地下に工造物や物件などを設け、継続して使用する場合には、道路の占用者から道路占用料を徴収することができるとのこと。

県では道路占用料を徴収するための条例をつくっている。志賀町でも徴収すべきである。

答弁 徴収する方向で検討する。

除雪機購入補助金 の申請状況は

質疑 地区で除雪機を購入した際に補助金が交付されるようになるとのことだが、これまでの申請状況は。

答弁 これから各地区に募集をかけるので、また申請はない。



補助金が交付される除雪機

9月定例会 議決結果

※議長は採決に加わりません。

番号	議案名と内容 (議案名は一部省略してあります)	議決結果
議案 69～78	平成30年度一般会計補正予算～平成30年度水道事業会計補正予算…【3ページ参照】	可決 賛15 反0
79	本社機能立地促進のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例…県と連携して本社機能の立地促進に取り組むため、所要の改正を行った。	可決 賛15 反0
80	工事請負契約の締結「ますほの丘住宅ファミリー棟建築工事」…本施設の建築工事を行うにあたり、寺井建設(株)と1億8,753万1,200円で契約する。	可決 賛15 反0
81	工事請負契約の締結「志賀町文化ホール等改修工事(建築工事)」…本施設の建築工事を行うにあたり、池田建設工業(株)と9,587万7,000円で契約する。	可決 賛15 反0
82	工事請負契約の締結「志賀町文化ホール等改修工事(電気設備工事)」…本施設の電気設備工事を行うにあたり、坂室電機(株)と1億5,500万9,700円で契約する。	可決 賛15 反0
83	工事請負契約の締結「志賀町文化ホール等改修工事(機械設備工事)」…本施設の機械設備工事を行うにあたり、ネオ工業(株)と2億431万2,240円で契約する。	可決 賛15 反0
認定 1	平成29年度一般会計歳入歳出決算認定…【3ページ参照】	認定 賛14 反1
2～11	平成29年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定～平成29年度町立富來病院事業会計決算認定…【3ページ参照】	認定 賛15 反0
請願 2	子どもの医療費の窓口無料化等の実施を求める請願…【4ページ参照】	不採択 賛3 反12
3	主要農産物種子法の復活等を求める請願…【5ページ参照】	不採択 賛3 反12
4	TPP11(CPTPP)協定を批准しないことを求める請願…【5ページ参照】	不採択 賛2 反13
5	志賀町議会議員定数の削減を求める請願…「少数議員数であっても、前向きに活発な議論を戦わせる組織」として、他町同様に議員の定数削減を求める。	継続審査 賛13 反2
6	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための2019年度政府予算に係る意見書採択の要請についての請願…長時間労働是正のための教職員定数改善を推進し、義務教育費の国庫負担割合を2分の1に復元するよう求める。	採択 賛13 反2
発委 2	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書…請願6号の採択をうけ、意見書を国に提出する。	可決 賛15 反0
発議 3	防災・減災対策のための社会資本の維持管理・更新に必要な財政措置を求める意見書…防災・減災対策のための社会資本の計画的な維持管理や更新に必要な財政措置を講ずるよう求める意見書を国に提出する。	可決 賛15 反0
4	賃貸住宅の税制措置を求める意見書…家賃及び共益費への消費税の課税は、現行どおり対象外とすること。また、賃貸マンションやアパートの大規模修繕積立金を課税対象外とすることを求める意見書を国に提出する。	可決 賛15 反0
同意 2	志賀町教育委員会教育長の任命…志賀町教育委員会教育長として、間嶋正剛氏(福浦港)を任命するため、議会の同意を求める。	同意 賛15 反0



豪雨災害の対策を

有効な対策を講じたい 町長



福田 晃悦 議員

福田 先般の集中豪雨により、本町は過去経験のない、水害に見舞われた。今回の豪雨経験を分析し、より高いレベルでの水害対策を構築すべきと考える。具体的な例として、避難所の暑さ寒さ対策、浸水の可能性がある地区への土嚢ステーションの設置、止水設備導入への補助事業など、全国の自治体の例を参考にし、対策に乗り出すべきである。

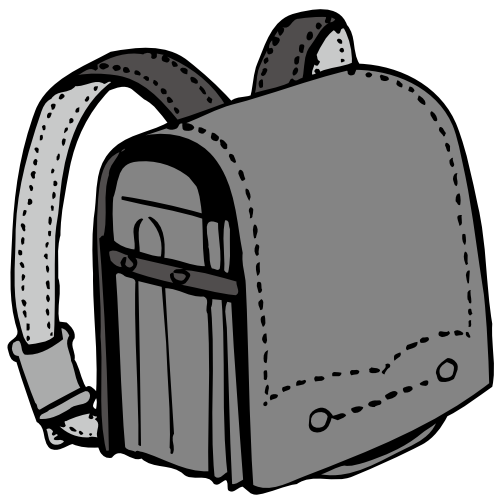
町長 避難所の暑さ・寒さ対策については、状況に応じて、業務用の空調設備や状況によっては発電機等をリースするなどして対応したい。

地区への土嚢ステーションの設置については、各消防団の詰所に土嚢袋を備蓄し、詰所や旧小学校等のグラウンドに砂をストックして対応したい。止水設備導入への補助事業については、都市部とは違い、本町の住宅の状況や敷地面積の広さなどを考えると、止水板による効果は低いため、現在のところ導入は考えていない。

今後も他自治体の先進事例を参考にしながら、できる限り有効な対策を講じていきたい。

入学準備金の支給時期を早めよ

入学前に支給する 町長



入学準備金はランドセルなどの購入費用として支給される

福田 経済状況が厳しい家庭の小中学生に学用品代などを補助する就学援助制度の中に、1年生を対象にした入学準備金がある。本町では前年所得が確定する6月に決定し、支給しているが、支給時期の前倒しを進めるべきである。

町長 国では、要保護児童生徒就学援助費のうち入学準備金について、昨年度から入学前の支給が可能とした。このことを踏まえ、本町でも必要保護世帯に対する入学準備金を、平成31年度の新入学児童・生徒から、入学前に支給したいと考えている。



南 正紀 議員

米町川の河川改修を急げ

県に強く要望する 町長

南 先般の集中豪雨や台風の際の避難に対する情報伝達について、どのように評価しているのか。今後の課題についてどう考えているのか。

また、今回の災害で猛威を振るった米町川の河川改修は、梨谷小山地区を含む上流部の早期の改修の重要性を再認識させられた。県に対する今後ますますの要望を求める。

町長 情報伝達については、防災行政無線や緊急速報メール、ケーブルテレビなどで発信した。豪雨による雨音で音声が聞き消され、十分に伝わらないこともあったので、今後対応を検討したい。

今後は、積極的に情報を取得する意識を高めてもらうため、防災意識の高揚に努めていきたい。米町川の改修については、県に強く要望していきたい。



豪雨により氾濫した米町川（米町不動の滝）

児童の手荷物を減らせ 柔軟に対応したい 教育長

南 児童が登下校時に携行するランドセルや手提げ袋等が重すぎ、悪影響を与えていると問題になっている。

文部科学省は、宿題で使わない教科書等は、教室に置いて帰ることを認めるよう、全国の教育委員会に求める方針である。

本件については、早急に解消する必要があると思うが、どう考えているのか。

教育長 従来から、家庭での予習復習で使わない教科書や副教材、学用品は学校に置いておくなど、各学校では柔軟な対応をとっている。

今後も各学校の実態に応じて、工夫し対応していく。

その他の質問：

南 守田教育長においては、10月21日に任期満了を迎えるが、自身の任期を振り返っての所感は。

教育長 小泉町長のもと、議員の皆様や町民の皆様の温かいご支援とご協力のおかげで、教育長を務めることができました。皆様には厚く御礼を申し上げます。



圏域についてどう考えるか

独自のまちづくりを行う

町長



堂下 健一 議員

堂下 国では、複数の市町村で作る「圏域」を新たな行政主体とする議論が始まっている。

これまでの行政のあり方を大きく変えることになると思うが、町として、この「圏域」についてどう考えているのか。

町長 総務省では、人口減少や高齢化が深刻となる2040年を目途に、人口構造の変化に対応した自治体行政のあり方を検討していく必要があるとし、圏域単位での行政の標準化などを目指すこととしている。

ここでいう圏域単位での行政とは、市町村合併ではなく、連携や協力を基調とするものである。

今後は国の動向を注視しながら、総合戦略に基づき人口減少対策や町の特徴を活かした独自のまちづくりを推進していきたいと考えている。

北陸電力に厳しい対応を

信頼回復に努めてもらいたい 町長

堂下 電力会社の原発事故対応訓練の評価結果が原子力規制委員会から報告されたが、北陸電力は最低評価のCであった。

町として、この訓練結果の詳細を把握しているのか。厳しい対応が北陸電力に緊張感を持たせることになると思うが、どう考えているのか。

町長 訓練の評価結果については、北陸電力からの報告で把握している。

9項目のうち、A評価、B評価がそれぞれ4項目あったものの、事故の事象進展や住民防護措置の発動をするための情報共有はC評価であった。

北陸電力には、これまでの反省点をはじめ、今回の訓練での評価も真摯に受け止め、安全意識に対する企業風土を改めて見つめ直し、発電所が停止中であっても、常に緊張感、使命感、責任感を持ち、町民はもとより、国民の信頼回復に努めてもらいたい。



運転停止中の志賀原子力発電所

その他の質問：

堂下 先般の豪雨災害による被害額は。

町長 9月7日までに県に報告した状況では、土木関係で2億9350万円、農林水産関係で1億5720万円、合計で4億5070万円となっている。なお、公共施設なども被害が発生しており、現在調査中である。



危険なブロック塀の 解体・整備に補助金を

国の動向を踏まえて 検討する 町長



中谷 松助 議員

中谷 通学路や不特定多数の通行が見込まれる公道に面している所で、危険と思われる個人住宅のブロック塀が見受けられる。塀が崩れて通行人がケガをしたり、緊急車両が通れなかったりすることがないよう、解体・整備に補助金を交付できないか。

町長 大阪府北部地震のブロック塀の倒壊による痛ましい事故を受け、本町では、公共施設のブロック塀の緊急点検を実施した。その結果、安全基準を満たしていないものが7箇所あった。2箇所については解体したが、残る5箇所については、今回の補正予算で対応したい。

また、住宅等のブロック塀の安全対策については、国土交通省が作成した建築基準法に基づく検査項目を、町のホームページやケーブルテレビで広報し、注意喚起を行っている。補助制度については、国の動向を踏まえて検討したい。



撤去前

緊急点検をした富来小学校のブロック塀



撤去後

安全対策によりブロック塀を撤去

その他の質問：

中谷 入学準備金を入学前に支給せよ。

町長 福田議員に答弁したとおりである。

中谷 洪水浸水ハザードマップを作成せよ。
まち整備課長 すでに作成している。

中谷 小中学校プール上の夏用日除けと体育館のエアコンを設置せよ。
町長 費用対効果の面から、整備する考えはない。

中谷 会計年度任用職員制度により不利益が生じないよう求める。
総務課長 適正に進めたい。

中谷 活断層のある志賀原発は、即刻廃炉にすべき。
環境安全課長 審査会公同状況を注視している。



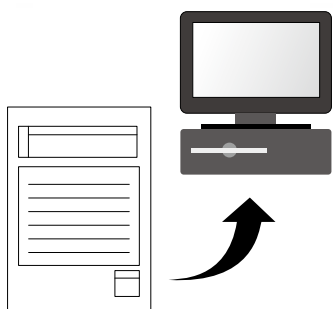
稲岡 健太郎 議員

行政サービスの電子化を

順次検討をしていく 町長

稲岡 ICT(情報通信技術)を活かしたサービスが官民間問わず進められている。3月に政府は行政手続のデジタル化に向けた今後の進め方を示したが、そのような中、加賀市では電子自治体の推進や産業の創出等にICTを活用する方針を発表した。

町長 本町における行政手続の電子化については、現在、地方税に関する申告手続や町立図書館の貸出予約で実施している。国においては、マイナンバーカードの普及促進の観点から、各種手続が電子申請により利用できるよう自治体に導入を促しているところで、国の動向を踏まえて順次検討をしていく。



申請書の電子化が進む

保育園での完全給食の実施は

国の動向を注視したい 住民課長

稲岡 現在、志賀町の公立の機関では、子どもが0歳から18歳の間のうち、3歳から5歳の間だけが副食給食、つまり主食であるご飯を持参する仕組みになっている。パン食の普及や朝食をとらない家庭も増えてきているが、食育を推進する意味でも、また子育て世代への支援として、3歳児から5歳児にも完全給食を実施してはどうか。

住民課長 完全給食を実施することで、「保育園でご飯が出るから今日は朝ご飯を炊かなくてよい」ということになれば、朝食をとらな



温かく安全なご飯を!

い園児が増えるということが危惧される。幼少期の食習慣がその後の子どもの味覚はもとより、性格や人格にまで影響を及ぼすとも言われており、年齢や発達段階に応じた望ましい食習慣の定着や豊かな食体験の積み重ねは家庭の関わりが最も大切なことだと思ふ。国は来年10月から、3歳から5歳児全員と住民税非課税世帯の3歳未満児を対象に、幼児教育・保育の無償化を実施する方針で、給食についても検討が進められていることから、国の動向を注視したい。

委員会視察レポート①

写真の技術を学ぶ

7月11～12日、全国コンクールで優良賞を受賞した埼玉県小川町議会の視察と、全国議会広報クリニックを受講しました。

小川町では、表紙写真を撮るときは、「表情を撮る」、「臨場感あふれる画像」、「遠慮しないで一歩前に出て撮る」を心がけているそうです。

全国議会広報クリニックでは、講師から写真技術や編集技術についてアドバイスをもらいました。



議会だより「しか」No.51の表紙

講師のコメント

表紙は、住民と議会をつなぐコミュニケーション企画です。全員でお辞儀している小学生が魅力的で、住民を笑顔にします。

原子力発電所対策特別委員会

委員会視察レポート②

核燃料サイクルの最前線へ

8月1～3日、原子力燃料サイクル施設や放射性物質等環境研究施設が集中する青森県六ヶ所村を視察しました。

この広大な六ヶ所村での核燃料サイクルの順調な運営が日本の原子力政策の成否に関わっていると言っても過言ではありません。

今回の視察では、使用済核燃料の乾式貯蔵など、これまで見聞できなかった分野を見学し、新たな知識を習得することができました。



見どころの多い六ヶ所村PRセンター

委員会視察レポート③

議会運営委員会

住民にわかりやすく



大型ディスプレイが設置された議場

8月21～23日、議会運営において先進地である佐賀県武雄市議会、熊本県御船町議会、福岡県大刀洗町議会を視察しました。

武雄市では、議場に大型ディスプレイが設置され、パソコンを使ったプレゼン方式により一般質問が行われています。言葉だけでは分かりづらい点を簡単に確認・理解できるため有効なシステムだと思います。

御船町と大刀洗町では、一問一答方式と議会報告会について調査しましたが、我々も採用すべきだと感じました。

町内の企業を視察

人手不足の対策を

7月23日、能登中核工業団地の加賀木材(株)、(株)栗田製作所、志賀原子力発電所を視察しました。

加賀木材(株)では、高品質な不燃木材を製造しています。本町では公共建築物に対する木材の利用促進を図っており、木材産業の可能性を感じました。

(株)栗田製作所では、ベアリングの加工を行っています。ベアリングは、回転する軸を支える機械部品で、風力発電の風車や新幹線の車輪などに使われ、今後の需要が期待されています。各種の企業では、従業員を募集していますが、改めて、人手不足に対する対策が必要だと感じました。



ベアリングの加工過程



不燃木材の製造過程

石川県町村議会議長会研修会

政局の行方は

8月28日、津幡町文化会館で『舞台裏から見た政治とこれからの政局展望』と題した講演会が開かれました。

講演は、安倍内閣が進める政策やその舞台裏の話など普段は聞けないような内容で、時間があつという間に過ぎてしまいました。

中央政界や経済の情報を収集することで、議会人としての質の向上を図るとともに、今後の政局の行方にも注目していきたいと思えます。



政局を語る政治評論家の有馬晴海氏



見舞金を受けとる南議長

福井県高浜町議会から 豪雨災害の見舞金

10月4日、志賀町と姉妹町の福井県高浜町が視察に訪れました。本町の議会改革に感心を持っているとのことで、中でもタブレット端末の導入について活発な意見交換を行いました。また、通年議会や議会報告会のほか、外国人労働者の必要性についても質問があり、有意義な視察となりました。

視察の際、高浜町議会から志賀町に対して豪雨災害の見舞金をいただきました。

バトンチーム TIARAsilky

バトントワリングを

楽しんでほしい

◆最後に一言
 ◇観客の皆様楽しんでいただける演技を目指しています。メンバーには感謝の気持ちを持って身体的にも精神的にも成長してもらいたいです。



代長 谷内口 由佳 さん

◆結成の経緯は

◇当チームの前身となる「バトクラブSilky」よりチームを引き継ぎ、金沢市でも活動をしている「バトンチームTIARA」のグループとして、平成28年より新たに活動を開始しました。

◆メンバー、会員構成は

◇町内の幼児から中学生までの13名が所属し、指導員2名と保護者の皆さんで活動しています。

◆普段の活動は

◇志賀町総合体育館で月3回ほど練習しています。大会や出演前には追加練習もあります。年齢も経験も様々ですが、メンバー一人ひとりが責任を持って取り組んでいます。

◆これまでの活動実績は

◇町内で開催されるイベントやお祭りなどに、積極的に出演しています。また、石川県バトン協会が主催する大会にも出場しています。

団体競技の大会では年2回出場し、個人競技の大会では出場した3名のメンバーが、すべての審査項目でA判定の評価をもらい、金賞を受賞しました。



楽しく笑顔で頑張っています。随時、新メンバー募集中です！

お知らせ

12月定例会の予定日です。本会議を傍聴してみませんか。

12/4 (火)	本会議 10:00	議案の上程 (町長が行政報告や議案説明をします。)
12/11 (火)	本会議 10:00	一般質問 (議員が町政について質問をします。)
12/18 (火)	本会議 14:00	議案の採決 (議案の可否について決定をします。)

発行責任者		議長 南 政夫
議会広報特別委員会		委員長 寺井 強
委員	副委員長	委員
稲岡健太郎	福田 晃悦	南 正紀
富澤 軒康	櫻井 俊一	